



2020年4月24日

各 位

会 社 名 CYBERDYNE株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 山海 嘉之  
(コード番号 7779 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取締役コーポレート 宇賀 伸二  
部 門 責 任 者  
(電話 029-869-9981)

## 自宅で「Neuro HALFIT」 個人向け新サービスを開始 ～ 身体機能を維持向上し、要介護度改善・重度化防止 ～

CYBERDYNE 株式会社(茨城県つくば市、代表取締役社長:山海嘉之、以下「当社」)は、自宅で「Neuro HALFIT」ができる新たなサービスの提供を開始いたします。まずは、HAL<sup>®</sup>腰タイプ自立支援用を個人のお客様にレンタルし、自宅でもお使いいただけるようにすることで、日常的に脳神経・筋系の機能の向上を促し、自立度を高めることにより要介護予防をサポートしてまいります。

### ■ 背景

Neuro HALFIT は、世界初の装着型サイボーグ HAL<sup>®</sup>による脳神経・筋系の機能の向上を促す新しいプログラムです。加齢に伴う身体機能の低下や脳卒中（脳梗塞や脳出血などの脳血管疾患）、脊髄損傷などによる後遺症により、自力で立ったり、座ったり、歩いたり、腕を動かしたりすることが難しくなった方に対して、HAL<sup>®</sup>を装着して脳神経系の活動ループを賦活化することで、脳神経・筋系の機能向上を促すことが Neuro HALFIT の大きな特徴です。従来のリハビリで効果を感じなくなってしまったご利用者様でも、さらなる向上が期待できます。サービス開始からすでに2,000名以上の方にご利用いただいております。

これまで、Neuro HALFIT は、ロボケアセンターにて専門スタッフがご利用者様一人一人に合わせたメニューを提供してまいりましたが、ご利用者様からは、より一層の機能改善を図るために自宅でも HAL<sup>®</sup>を使えるようにしてほしいというご要望を多くいただいております。

昨今の新型コロナウイルスの影響に伴う外出自粛により、運動機会の喪失や運動量の低下による身体機能の低下リスクが高まっています。当社は、自宅での HAL<sup>®</sup>の使用について、パラアスリートをはじめとするご利用者様との検証を進めた結果、自宅で「Neuro HALFIT」ができる新サービスの開始を予定より前倒しし、まずは腰タイプから提供することを決定いたしました。



自宅で HAL<sup>®</sup>を使って、様々なメニューに取り組める

## ■ 新サービスの概要

このたびの新サービスは、個人のお客様に HAL® をレンタルし、自宅でお使いいただき、脳神経・筋系の機能の向上を促す「Neuro HALFIT」に3ヶ月集中して取り組むプログラムです。ご利用者様に寄り添い、自宅でも楽しく、安全に取り組めるプログラムとなっています。第一弾として、HAL®腰タイプ自立支援用を使ったサービスを開始いたしますが、腰タイプは装着が簡単で、身体を動かす際に HAL® のアシストがあるため、辛く、厳しいトレーニングが苦手な方でも、無理なく続けることができます。HAL® の使用法は、お近くのロボケアセンターにて講習を行います。また、専門スタッフがご利用者様の身体状況に合わせたメニューの作成・計画・フォーム指導までをサポートし、月1度のロボケアセンターでのマンツーマンプログラムやWEB相談を通じてチェックを行い、一人一人の目標達成をお手伝いいたします。

障がいをお持ちの方から、フレイルを予防したい方、今の健康を維持したい方まで幅広い方を対象にしたサービスとなっております。

## ■ HAL®腰タイプ自立支援用について

HAL®腰タイプ自立支援用は、足腰の弱った方などの体幹・下肢機能の維持向上を目的して2017年10月より展開されています。足腰の弱った方などが装着して体幹動作や立ち座り動作などを繰り返すことによって身体そのものの機能向上が促されるため、HAL® を外した状態であっても日常生活での自立度を高めることが期待でき、すでに医療機関や福祉施設を中心に多くの利用実績があります。今回、新たに追加されたモニター機能では、HAL® を PC やタブレットなどの端末と無線通信で接続し、生体電位信号や、体幹の傾きの角度等の装着者情報をリアルタイムで表示できます。これにより、これまで姿勢や筋肉の緊張や弛緩といった情報をなかなか把握できなかった方でも、自分の情報を客観的に確認し、分析することができます。当社グループが運営する四ツ谷ロボケアセンターでは、モニター機能を活用することで、障がいをお持ちの方や高齢の方だけでなく、野球の前田健太選手をはじめ、テニス、ゴルフ、スノーボード等、各競技のトップアスリートにもご使用いただいております。



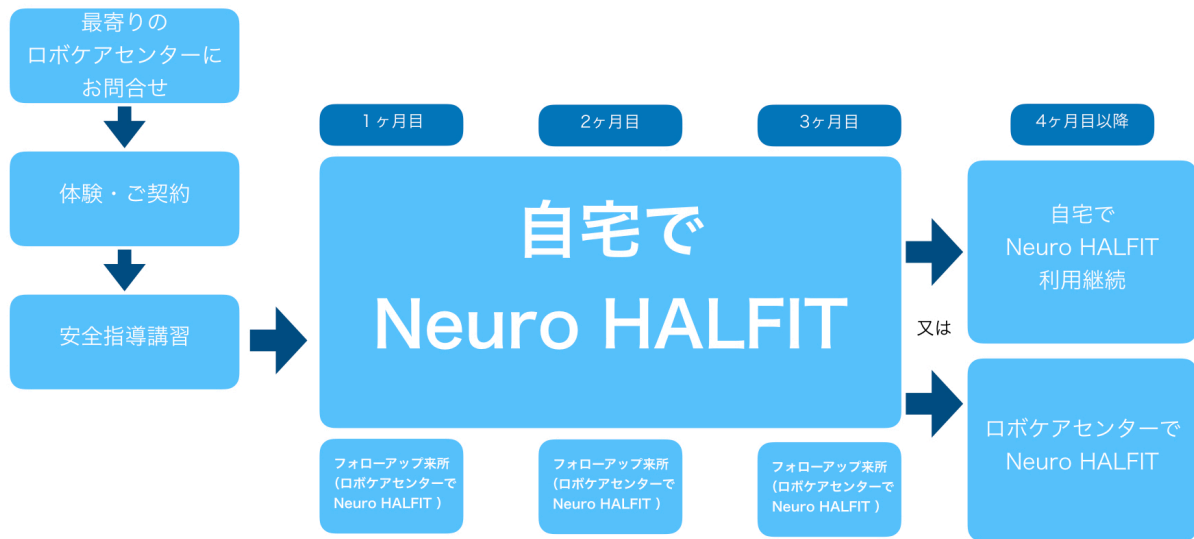
HAL®腰タイプ モニター機能  
(写真提供：一般社団法人 IWA JAPAN)



\*HAL®腰タイプ自立支援用の医療機関等での導入事例は、こちらをご参照ください


<https://www.hal-care-support.jp/自立支援用/>


## 新サービス利用の流れ





## 自宅での活用イメージ


どこからでも始められる

 活動量の維持・向上  
生活習慣の改善  
社会活動参加による認知予防

 筋力の維持・向上  
歩行速度の維持・改善


 スムーズな起立動作の習得  
歩容の改善


 移乗時の協力動作獲得  
排泄コントロール


 ヘッドキャッチアップによる  
スムーズな起床  
座位保持時間の伸長


腰タイプの体幹・下肢運動を行う事による  
生活の質の変化 (検証施設からの報告)

**【 HAL®腰タイプ自立支援用を用いた基本動作 】**

①骨盤 前後傾 

②体幹 前後屈運動 

③立ち座り 

④スクワット 

**無理なく**  
本人の状態や体調に応じて、  
プログラムを自在に組み立て

**簡単に**  
特別な技能は必要なし。  
装着もいたって簡単！

**ロボケアセンター**  
定期的なカウンセリング  
目標到達度の確認

### 利用条件

- ご利用者様、もしくはご利用者様のHAL®装着をサポートされる方は必ずロボケアセンターで行われる安全使用講習を受講し、修了する必要があります。
- 原則として月1度、ロボケアセンターでのマンツーマンフォローアップにお越しいただき、専門スタッフによるチェックや目標の確認を行います。

### ◇ 外出自粛要請期間中の対応について

自宅で「Neuro HALFIT」をご利用いただくためには、製品の体験、安全使用講習の受講および、月1回のマンツーマンフォローアップのため、お近くのロボケアセンターにお越しいただくことが必要となりますが、現在、各都道府県より外出自粛要請が出ていることから、当該要請が解除されるまでの間、ビデオ通話などネットでのコミュニケーションが可能な場合は、例外としてネットでも対応をいたします。

■ 自宅で「Neuro HALFIT」のお問い合わせ先

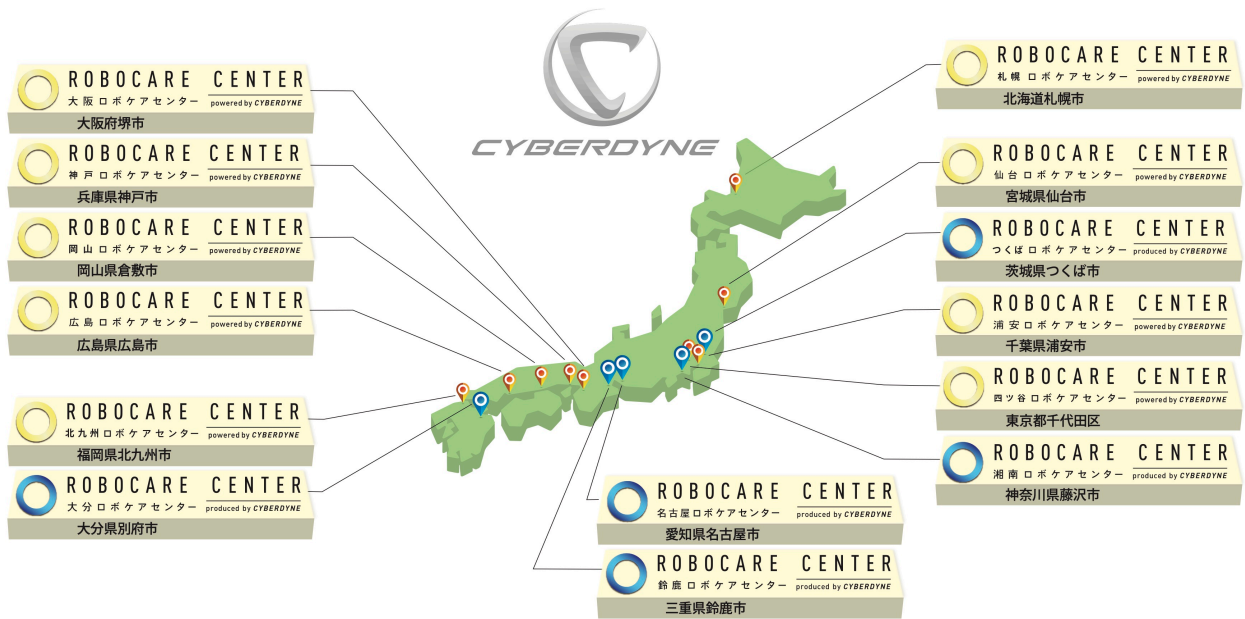
自宅で「Neuro HALFIT」の詳細は、ロボケアセンターホームページをご覧ください。

<https://robocare.jp/personal/>

自宅で「Neuro HALFIT Personal」お問い合わせ先

<https://robocare.jp/contact/>

TEL: 029-828-8282 11-18時(祝日・年末年始を除く) \*本年4/29-5/6はお問い合わせ対応いたします



■ 今後の展望

当社は、自宅での「Neuro HALFIT」の提供を通じて、場所や時間を問わずに身体機能の改善に取り組む環境を整えるとともに、引き続きお客様の幅広いニーズに対応できる製品やサービスの充実を図ってまいります。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

CYBERDYNE 株式会社 広報・IR 担当 TEL: 029-869-9981

以上